

# 小泉成行・アジアの頂点へ

木村佳司

アジア選手権ロング競技 2010年5月4日 愛知県新城市作手地区

アジア大会ロングに照準を合わせた小泉がアジア頂点に立った。同時に自身としても初めての日本選手権を手に入れた。

2010年5月4日 愛知県新城市  
アジア選手権大会ロング種目



ロング優勝のリ・ジ（中国）（左）と小泉成行（日本）（右）



優勝確定！夢が叶った瞬間の小泉。



同じクラブの佐々木（右）と抱き合って優勝を喜び小泉（左）

選手が優勝した。毎日優勝する選手は異なった。それぞれの距離や競技の性質に合わせた能力を発揮した結果と見ることができる。

## 夢は叶う

日本代表の小泉は目標をこのアジア選手権に絞っていた。この夏ノルウェで開催される世界選手権には出場しない。まずアジア大会で優勝すること。そして同時に日本選手権を手に入れること。その思いと練習がロング競技で発揮された。

## 怪物 リ・ジ

男子選手権は日本人同士でつばぜり合いを演じていつ一方、女子選手権はリ・ジがぶっちぎりの優勝を飾った。2位以下を7分離すという怪物ぶりを発揮した。

彼女の特徴は世界トップレベルの走力。今回のレースではそれがよく発揮されている。それだけではない。各コントロールでのミスも最小限に抑え込んでいる。もはやアジアでは誰も彼女を止められない。その実力をもって世界選手権でアジア初のメダルを獲得してもらいたい。

## 番場洋子 5連覇

今回の日本選手権獲得で番場洋子は全日本5連覇、6回目の優勝となった。膝に故障を抱え不安要素がある番場だが、ここ一番ではきっちりと結果を出している。今後も故障と向き合って体をケアして日本を代表する結果を残してもらいたい。

### M21E - 10.7km ↑ 540m

1	小泉成行	1:27:35	日本
2	紺野俊介	1:29:07	日本
3	鹿島田浩二	1:30:25	日本
4	松澤俊行	1:32:23	日本
5	山口大助	1:32:38	日本
6	加藤弘之	1:33:13	日本

### W21E - 7km ↑ 370m

1	LI Ji	0:59:52	中国
2	Hao Shuangyan	1:07:02	中国
3	Zhu Mingyue	1:10:07	中国
4	番場洋子	1:11:40	日本
5	朴峠周子	1:14:04	日本
6	Wang Yingwei	1:15:27	中国
6	皆川美紀子	1:15:27	日本

### M20E - 7.7km ↑ 385m

1	Li Xiang	1:06:13	中国
2	立川悠平	1:06:42	新潟大学
3	瀧本拓央	1:11:53	名古屋大
4	堀田 遼	1:15:16	日本
5	Zenin Aleksandr	1:17:37	カザフ
6	佐藤雄太郎	1:17:57	日本
7	尾崎弘和	1:18:37	日本
8	伴 毅	1:18:40	京大 OLC
9	深田 恒	1:19:30	日本

### W20E - 5.1km ↑ 285m

1	星野智子	1:05:48	日本
2	宮川早穂	1:14:53	日本
3	小玉千晴	1:29:33	椋山
4	芦澤咲子	1:35:48	日本
5	小柳優紀	1:42:10	日本
6	Wang Sing	2:13:35	台湾
7	Lin Chia-Hui	2:14:08	台湾

## ロング種目のアジア/日本一

アジア選手権2010の3日目はロング種目が行われた。男子では小泉成行（日本）が優勝、女子はリ・ジ（中国）が優勝した。女子日本勢は番場洋子の4位が最高だった。

本種目は日本選手権大会を兼ねており、これにより小泉と番場はロング種目の日本選手権者となった。

アジア選手権個人戦は結局男子は全て日本選手が優勝し、女子は全て中国



日本選手権ロング種目の優勝者。左から小泉成行、番場洋子、立川悠平、星野智子

# 菅沼・守義

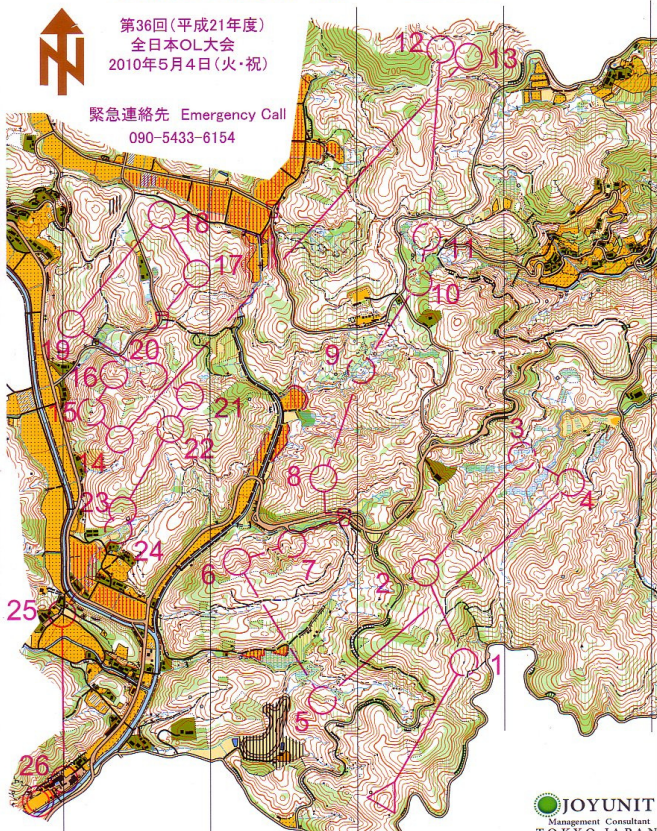
Suganuma/Moriyoshi Shinshiro C., Aichi P

Scale 1:15,000  
Contour Interval 5m



第36回(平成21年度)  
全日本OL大会  
2010年5月4日(火・祝)

緊急連絡先 Emergency Call  
090-5433-6154



調査作図情報:  
Field Work: 2009.1-2010.3  
Aichi Orienteering Association  
Drawing: Aichi Orienteering Association  
OGAD9 License 2082  
Base Map: O-Map of WOG (2005)  
Copyright © Aichi Orienteering Association  
版權者: © (特非)愛知県オリエンテーリング協会

特殊記号 Special Symbols

- 石仏、祠 Small shrine, Stone buddha statues
- 炭焼き窯あと Old charcoal pit
- 椎茸栽培地 Mushroom growing area (Off-limits)
- ビニールハウス Green House

Grant of the Sports Promotion Fund



AsOC2010 Long, 04 May

		M21E		540 m	
		1	10.7 km		
▷		○		○	
1	31	≡	1.0	⊙	
2	126	≡		≡	
3	40	●		♂	
4	51	→		≡	
5	32	→		≡	
6	129	≡			
7	103	≡		≡	⚡
○ --- 290 m --->>					
8	131	▲	0.5/2	○	
9	93	▲	0.5/1	♂	
10	53	≡	8+8	○	
11	33	≡			
12	132	≡			♻
13	94	∨	3+3	○	
14	133	≡			
15	140	↑		○	
16	134	∨	2+2	○	
17	114	≡		≡	
18	83	≡			
19	52	≡			
20	77	∨	3+3	○	
21	137	≡			
22	138	≡			
23	78	∨	3+3	○	
24	34	≡		∨	
25	110	≡		∨	
26	111	≡		▷	
○ --- 130 m --->>					



We Offer Innovations EVERNEW



(公財)十六地域振興財団



第2回アジアオリエンテーリング選手権大会 2010.04.30-05.05 Gifu & Aichi

## おっさんたちの厚い壁

筆者・木村は今日も M45 に出走。先日行われたミドル M45 上位のスピードには勝てない・・・勝負どころでミスをしていないオリエンテーリングを心がける。コントロールの難易度により、スピードに緩急をつけ、ほぼノーミスでレースを終える。だが M45 のおっさん達は「難易度? そんなの関係ねえ!」どんなコントロールでも難なくハイスピードでクリアしてゆくのだ。その結果、私はとうとうこの日はメダルから陥落。

レース中盤に頭を悩ませるようなロングレグがあった。序盤から考え続け、レグに入ってもコース取りに微修正をかけた。その結果この勝負レグだけベストラップを叩き出すことができた。それがこのレースの唯一評価できる成果となった。レース自体は楽しめた。

M45 ではロングらしいコース設定になっていたが、クラスによってはあまりロング種目らしくらぬコース設定になっていたものもあった。テレインの広さ、選手権クラスとの兼ね合いからプランナーも苦渋の判断を強いられたと推察する。

## しっかり観光

のんびり会場を後にして作手高原を降りる。「本宮の湯」に浸かって汗で塩だらけになった体を休め、暗くなりかけた豊川稲荷を参拝。ゆったりと三河を楽しんだ。

(木村佳司)

菅沼・守義のテレインは 2005 年に行われた世界選手権で初めて図化され、2005 年ではミドル予選、ロング予選に使用された。その後ビッグイベントのために 5 年間クローズされていたテレインである。このテレインを今回のアジア選手権ロング種目で使用した。通行可能性は高いがアップダウンが多いのが特徴。

## 初夏の香り

大会 3 日目も初夏を思わせる陽気となった。会場となった菅沼小学校の校庭では日陰を求めて各国が陣地をとった。

菅沼地区のテレインは交通の便が悪く、マイカー参加者もすべて専用駐車場からシャトルバス輸送となった。これだけ多くの人を輸送する運営は大変であろう。運営の苦労が偲ばれる。交通の便が悪いことがこのテレインをクローズしている要因のひとつでもある。



ジュニア世代は日本・中国・香港が上位。これからのアジアの発展を感じさせる。